

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 3月24日

事業所名 しいのみ学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	18	0	トイレの使用が全クラス重なった際に、トイレ内の移動が難しいことがある。	定員に対する設置基準に基づいているものの現園舎の老朽化は否めません。子どもの動線や物の配置等に留意していきます。R9.4に新園舎完成予定です。
	2	職員の配置数は適切である	18	0	何人かの片付けや連絡帳記入等をしている際は他の職員が子どもたちを見守る等、役割分担や安全管理に努めている。	職員配置等については今後も可能な限り努力し法定数以上の現状を維持していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	16	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示物や棚の上を整えて、子どもたちが生活しやすいように配慮している</li> <li>・ 視覚的な情報があった方がより見通しを持って生活習慣を身につけやすいのではないかと思うため、活動の順番を写真にして掲示する等の支援を取り入れることも検討してもよいのではと思うことがある。</li> <li>・ 行事の写真などで見通しを持てるようにしている。</li> </ul>	現園舎は建築後40余年を経過しており今後建て替えを含む抜本的な対応が必要と考えています。R9年4月に新園舎が完成する予定です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	4	・給食時は食べる場所と食べ終わって遊ぶ場所を区別する配慮が、落ち着いて食事の習慣を身につけることや安全性のために必要ではないかと思うことがある。	毎日、清潔で過ごしやすい環境作りに努めるとともに消毒作業の徹底を図ります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	13	5	・担任間では子供のことについて知らない人がいる状況を作らないように話すことを大事にしている。 ・行事ごとに事前のミーティングは行われるが、終わった後の振り返りや反省の機会があまりないため、そうした機会を設ければ次年度にさらによりよい行事や支援を提供できるのではないかと思う。 ・時間が取れていない。	P（計画）やD（実践）には、大きな力量を示していますが、C（評価）A（改善）の共通理解を得る機会をさらに充実していくことができるように努めていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	16	2	行事後に感想を書いて提出していただくことで、保護者には支援がどう映ったのか、行事の支援を通して子どもの成長を感じられたかを把握し改善に努めている。	今後も、公表を行い改善に活用していきます。なお、公表の方法としてさらに簡易になるよう園内掲示の方法を工夫します。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	17	1		今後も、ホームページ等で公表を行い改善に活用していきます。さらに園内掲示がわかりやすくなるように工夫します。
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	-	-		現時点では実施の予定はありません。
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容を事例検討会にするなどして、自身以外の職員がどのように子どもの様子を捉えているのか知る機会があると尚良いと思う。</li> <li>・施設内だけでなく外部への研修を積極的に取り入れることも、さらなる支援の質や意識の向上に有効ではないかと思う。</li> </ul>	園内において具体的な支援の手段に役立つようさらに工夫するとともに、必要に応じて研修会や資格取得のための研修などにもっと参加しやすくなるように計画的に研修を設定していきます。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	18	0	保護者の悩んでいることについて、学園と連携できることはないかなど話すことを大事にした。月に一度クラス内で現在の子どもの姿やどういった支援が必要かを話し合う場がある。	今後も継続していきます。
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	16	2	情緒面や対人面の成長の段階が示された表をもとに子どもの発達段階を捉えている。	園独自の発達支援スケールを多く取り入れていますが、今後も必要に応じて標準化されたツールも活用していきます。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	18	0		児童発達支援ガイドラインに関する共通理解をさらに深め、個別支援計画により深く反映できるように支援内容の整理に努めます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	18	0	児童発達支援計画に沿って支援者間で共通理解のもと支援を行うよう努めている。	支援の実際に関する定例的な研修やミーティング等を継続し、児童支援に関する共通理解を深めていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	14	4	・活動の固定化が目立ったので、新しい活動を考える話し合いもあって良かったと感じた。 ・主任に負荷がかかっているのではないかと思うことがあるため、担任がさらに立案に関わる必要があるのではないかとも思う。	児童発達支援管理責任者及びクラス主任を中心にクラスの職員間で十分に協議できる場を設定して共通理解を図ります。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	4	・固定化する中でも子どもたちが飽きないように一部を変えるなどして取り組んできた。 ・その年度の状況にあわせ、より新たな取り組みを積極的に取り入れても良いのではないかと思う。 ・クラスによって“必ず”朝の会をするようにしている	個に応じた支援をもとに子供たちが多様な体験を行えるよう工夫していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	18	0	集団での活動を多く取り入れており、社会性が身につけやすいようにしている。	基本的にクラス集団での活動を柱に日々の実践を行っていますが支援のねらいはすべて個別化されており今後も継続していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	17	1	朝礼後に必ずその日の支援について確認している。	職員の勤務形態にかかわらず全職員が確認しあうことのできる機会をさらに増やします。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	5	・行事のことは意識できて時間を作ることができるものの、日頃の保育後は時間を作れない日が多かった。 ・共有を行っているつもりだが、支援開始前よりも確実には行えていない。	職員の勤務形態にかかわらず全職員が確認しあうことのできる機会を増やします。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	16	2		今後も保護者への連絡を兼ねた活動記録（連絡帳）やクラスごとのミーティング記録を作成し支援につなげていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	18	0		今後も保護者個人面談やクラス懇談等を定期的な見直しを継続します。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	18	0		今後も、児発管、相談支援専門員等により対応していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	17	1		今後も、市役所、区の保健福祉センター、福岡市事業団、基幹センター等との連携を行っていきます。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0		
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	4		今後も、出身園等との情報交換を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	18	0		今後も、クラス主任や児発管等により就学前の引き継ぎとあわせて必要に応じて就学後に各学校に伺って状況を確認していきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	27	12	6		今後も児発管や相談支援員、園長を中心に連携していきます。
	28	7	11		状況に応じて交流の機会を増やしていきます。
	29	-	-		今後も、園長・相談支援専門員を中心に参加していきます。
	30	18	0	連絡帳で詳細に様子を書くように意識し、必要があれば電話で伝えることもした。送迎に来られた保護者を中心にその日の子どもの姿について伝える等行なっている。	今後も日々の連絡帳や個別連絡、個人面談等の機会を通して保護者との共通理解に努めていきます。
	31	14	4	助言をすることはあるものの、プログラムの形でこ支援はあまり行っていないのではないかと思う。	今後も食事や排泄等の日常生活動作に関する研修会や家庭での支援、介助に関する相談を実施していきます。
保護者への説	32	15	3		入園時のオリエンテーション等の他、個別の問い合わせ等にも丁寧に対応していきます。
	33	18	0		保護者とのクラス懇談や個人懇談を中心に、「支援計画書」をもとに十分な懇話を重ねて保護者のニーズ等の把握や支援の内容等について説明と同意を得ていきます。
	34	18	0		今後も保護者からの相談等に即時的に対応していきます。
	35	17	1	新学期当初の茶話会や保護者懇談等で保護者同士が連携できる機会がある。	保護者の負担を軽減するために学園でアルバム作成や研修会等を行うなどして保護者との連携・支援をしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	18	0		今後も保護者からの相談等に即時的に対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	18	0		今後も毎月の会報等で発信していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	18	0		今後も個人情報の管理に十分に努めます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	18	0		相互に分かり合えるよう多様な場面や方法で意思の疎通を図っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	7		行事等への案内はしていませんが地域の活動に園を開放するなど開かれたセンターとして工夫しています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	18	0	不審者訓練等も取り入れるとより職員の危機管理の意識も高まるのではないかと思う。	すべての案件に対応したマニュアルを作成済みです。実態に即した訓練を今後も継続して行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	18	0		子ども達の心理的安定を心掛けながら計画的に訓練を行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	18	0		各家庭や移行前の施設等から情報をいただいております。今後も継続していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	18	0		入園時に詳細な情報を把握するとともに毎年、必要な事項の共通理解を図っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14	4		今後も事故報告書を作成し情報共有を行っていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	18	0		今後も毎月、職員研修・報告を行っていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	18	0		今後も、年度当初に行う職員研修の場で説明・研修を行うとともに保護者と共通理解を深めるために児童発達支援計画に記載し保護者への説明を口頭でも行っています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。